

# このみ

学校法人  
木の实幼稚園

松山市西垣生町 1690  
TEL 089-973-1256  
FAX 089-973-1320

- 発行人●
- PTA 会長 雪絵
- 石崎 園長
- 中矢コノミ
- PTA 編集部 美穂子
- 藤田 寛知
- 一色 重川

## 創立四十周年 記念行事



### 『創立記念バザーを終えて』

文化部部长 小野山 梢

お天気にも恵まれた創立記念行事。木の  
実幼稚園四十周年という節目の年に創立記  
念行事に役員として関わらせて頂けたこと  
を大変ありがたく思っております。

これまでの創立記念行事に何かプラス  
し、みなさんに喜んで頂けることはなか  
いと、文化部全員でアイデアを出し合い、  
数か月前より準備を進めてまいりました。  
バザー会場の飾り付けや「四十周年」を  
意識したバザー販売の工夫、商品パッケ  
ジへの印字などを通して、お祝いの気持  
ちと日ごろの感謝を込めることができま  
した。至らない部分もあったかと思いま  
すが、子どもたちの楽しそうな姿も見られ、  
無事に創立記念行事を終えることができま  
した。これも、ご協力頂いた保護者の皆様、  
先生方、関係者の皆様のおかげだと思っ  
ております。ありがとうございました。

今回、文化部としてのPTA活動を通し  
て、多くの保護者様との輪ができました。  
このつながりの輪を大切に、微力ではあり  
ますが、これからも木の实幼稚園の発展と  
子どもたちが笑顔で過ごせる場作りに尽力  
していきたいと思っております。

### 『創立四十周年記念祝賀に寄せて』

創立者 中矢忠臣

創立から今日まで長きに渡って当園を支えこ支  
援いただいた地域の皆様や役所の方々には深くお礼  
と感謝を申し上げます。またPTA役員として、  
保護者として園行事に園児と共に一緒に手助けい  
ただいた親愛なる皆様には頭が下がります。

内輪のことですが敢えて申し上げます。この四十年  
間園児と共に一番身近で接し彼らの健やかな成長  
を見守り育んできた教職員に対して創立者として  
大いなる誇りを持って皆さんに謝意を表します。

指折り勘定しましたが、何回数えても私は  
七十二歳です。幼稚園のことを考える時はいつも  
創立時の三十二歳に戻ります。間違いなく四十年  
という年月を経ています。其の頃の園児達は今  
や社会の先頭に立ってこの日本を支えているお父  
さんやお母さん、成人になっているのです。私は  
改めて幼稚園の創立者、理事長という立場で居た  
ことを幸せに感じます。

幼稚園は、園児達にとって初めての社会生活の  
場所です。そして小学校や中学校とは違い保護者  
の手助けなしには園児の成長を支えられませ  
ん。まさに家庭と園が一体となった最初の社会とい  
う舞台です。ある有名な医者が私に次の事を教えて  
くれました。「乳幼児期は何も理屈は考えなくてよ  
い、最善の接し方は優しく絶え間ない親の笑顔、  
そして一緒に楽しく会話し叱らない事。」この話を  
聞かされた時私の子どもは既に乳幼児期を過ぎて  
いました。残念至極。ですが木の実の園児達への  
教育は今もそして未来も続きます。どうか保護者  
と教職員が明るい未来の為にもっともっと語り笑  
い、笑顔で子ども達に接してあげてください。皆で  
頑張って園児を支えてやりましょ。

### 『子どもたちへの贈りモノ』

理事長 中矢謙一郎

今日は二〇一六年十月十五日です。こししばらく、ポータルサイトで小林麻央さんのブログが取り上げられない日はほとんどありません。私は毎年健康診断を受けているのですが、今年血液検査である臓器に異常があるという判定が下り、昨日までの二か月に渡りCT、MRI、臓器細胞の採取による生体検査という検査コースを辿りました。結果的に、すぐに投薬治療等に入る段階ではないことがわかり、現時点では事なきを得ました。このようなことがあったので、小林麻央さんのブログの存在を、なんとなく身近に感じ意識してました。

この二か月の間、病院に通う車の窓越しに通学中の中高生の様子を眺めていました。「自分の子がこの子たちと同じ歳になるくらいまで、自分は生きていられるのだろうか」と、つつい頭の中心で膨らんで、不安な苦しくなることもあります。家で子どもを抱きかかえたときに伝わってくる子どもの体の温もりを感じたり、毎朝変わりなく幼稚園で挨拶を投げかけてくれる子どもたちに出会える。「生きてるんだ」という幸せをかみしめるような毎日です。朝を迎えることが尊いことのように思え、夜寝る前に「今日も一日生きていられた」と、病が疑われるまで真剣に考えもしなかったことを考えてしまいます。

残念ながら、私の病気は進行性たそうので、今はまだ根治できる治療薬がなく、進行に合わせた治療方法を変えていくのだそうです。そのため、定期的・継続的に血液検査を受けることになりました。ただ、現時点で日常生活に支障はなく、個体差があり人により進行の仕方が様々で、寿命を全うできる人もいろいろです。自分がそうであればいいなと願っています。

保護者の皆様、健康診断には必ず行かれて下さい。車に乗ったら、優先権など主張せず、確実に事故を回避してください。親が健在であること、そして子どもたちに毎日変わらず笑顔を見せてあげられることが、幼少期を過す子どもたちへの、最高の贈りモノのように思えてなりません。

### 『四十年に思い』

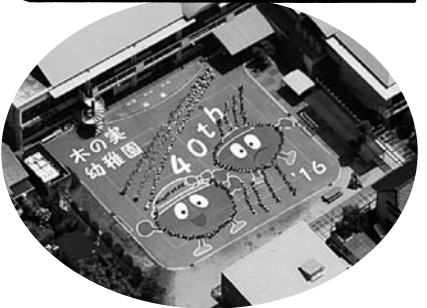
園長 中矢コノミ

四十年の歴史を紐解く時「このみ新聞」の存在は大きく、B4サイズの黒表紙の扉を開くと昭和五十二年七月十日とあります。PTA会長一色博様の若き日のお顔が目飛び込みます。文頭に「若葉がある四月に、うぶ声をあげた幼稚園も...」。初代園長光田香代先生の文頭「園長先生おはようございます」の誰かの声につられて小さい顔が次々と集まる...。そして初代理事長中矢忠臣氏の文頭に「創刊号発行おめでとうございます。今年、本園を開園した年であり、しかも日本に幼稚園が設立されて百一年目にあたります...」。PTA編集部（今で言う新聞部）には部長中矢明美さんと記されています。四十年の今年、二学期で百十八号を数えるこのみ新聞はずっしり重く、ほんのりと茶褐色をおびた紙からはそれ時々の保護者の園への思いやこのみっ子の姿が生き生きと読み取れます。もう一つの「卒園児台帳」には二十七年で二千五百四十六名の名前が丁寧に書かれています。一期生は男児三名女児二名の計五名、木造平屋のそれなりに広さのあるお遊戯室で入園式。スクールバスは一台、初代理事長先生が運転手。毎朝お迎えに行くのが楽しかったそうです。園舎の場所は昔いじく畑・ぶどう畑・甘夏柑畑。そして鶏舎もあり、リヤカーがやっとな一台通れる道中このみ橋は欄干のない土の橋。そんな緑の中、潮の香が漂う絶好の環境に木の実幼稚園は誕生しました。園の周辺に隣位の大きさの木が何本も植えられ、砂場が整備され、小さな小鳥小屋が建てられました。これらすべて一色会長の号令の基、役員を始めボランティアでしてくださったことに只々感謝でした。

教育の理念は、文部省（昭和五十年代）の基礎学の精神である「体験を積み重ねて経験となる」を大切に、「科心する心」「生きる力の基礎」「学ぶ力の基礎」培い、心身共に健康で人のことが我がごとのように思えるそんなこのみっ子一人ひとりが育つことを願います。も達と生活を共にし、共に学び、共に共感し、共に生きていく増々楽しい園でありたいと思います。これまでの四十年の年輪が次の世代のよきステップになりますよう、一年一年確実に子どもと共に保護者の皆様と共に地域の皆様と共に年輪を刻んでいきますよう今後とも皆様の御力添えを願いたく思います。





これまで木の実幼稚園と共に歩んで頂き多くのお力を頂きましたことに深く深くお礼を申し上げます。

### 航空写真



7月21日、創立四十周年を記念し、航空写真撮影が行われました。思い出残る、素敵な写真に仕上がりました...♥

### かかしコンテスト

<p>1位</p>  <p>ふじ組 じばにゃん 567票</p>	<p>2位</p>  <p>たんぼぼ組 おにかかし 462票</p>	<p>3位</p>  <p>まじよ かかし 309票</p>	<p>4位</p>  <p>さくら組 にんころ かかし 249票</p>
--	---	---	---

※たくさんのご投票ありがとうございました。

# “えがおはつづくよどこまでも”

## 第40回秋季運動会



創立40周年を記念し、クライミング・ウォールの設置をしました。子どもたちは楽しそうに利用し、私たち保護者も子どもたちの強い体づくりを期待しています。



### 「運動会を終えて」

体育部部长 水口 みどり

幼稚園の一大イベントでもある運動会。「えがおはつづくよどこまでも」のスローガンのもと四十回目の運動会が開催されました。九月に入ってから雨ばかりで前日まで雨が降り一日順延にはなりましたが、当日は真夏のような晴天に恵まれ無事に運動会が出来て本当に良かったです。

四十周年という記念すべき年の運動会を「いい運動会だった」と皆さんに思ってもらえる様、先生たちと協力して体育部員十二名で色々準備してきました。そして総練習でトイレ係をしてくれたヘルマーク部さん、前日準備で一緒にテントはりをしてくれた二十五名の補助役員さん、当日に園児係を手伝ってくれた二十八名の補助役員さん、後片付けを手伝ってくれた五役さん、お父さん、お母さん方、たくさんの方々のご協力があったからこそ体育部員も自分たちの役割がしっかりと出来、無事に運動会を終える事ができました。至らない点もあったと思いますが皆さん本当にありがとうございました。

# 保護者の声

## うちの子がハマっています!!

☆今回は年中さん☆




ひまわり組  
中矢 俊祐  
りゅうじ  
(龍詩)

龍詩は半年ほど前から部屋内で行うゴルフと、Wii Uのマリオカートにハマっています。毎日私が仕事から帰ってくる、「ねー。ゴルフカートしよ。」か、「ねー。ゴルフしよ。」と誘ってきます(笑)。なので、ほぼ毎日、我が家では夕食後の寝る前の時間はゴルフ大会か、マリオカート大会が開催されています。ゲームも多少出来る様になり、成長を感じられ嬉しく思う毎日です。



すみれ組  
岡部 聖子  
ゆうと  
(悠叶)

家にいる時いつも大好きなお姉ちゃんにくっついて、お絵描きしたりお人形さん遊びを一緒にしていたゆうと。年中さんになったころからよく幼稚園で剣を作って持って帰ったり、家でも何本も繋げてながくしたり、形を変えて作って遊ぶことにハマっています。戦いごっこをしてみたり男の子っぽい遊びもするようになってきました。木の実っ子になってから、色々な遊びが広がったように感じ嬉しく思います。



ゆり組  
上田 和菜  
りほ  
(莉穂)

最近、字を書くことにハマっている莉穂。園のお友達ともお手紙交換を楽しんでいるようで、毎日たくさんの手紙を持ち帰ります。「だいすき」「かわいね」など可愛らしく素直な言葉が綴られた手紙を嬉しそうに読む姿を、いつも微笑ましく思いながら見えています。これからも幼稚園生活を通して、色々なことを経験してほしいなと思っています。



れんげ組  
角田 美貴  
あいり  
(愛莉)

うちの子が今ハマっている事は、玩具の電子ピアノです。毎日ではありませんが、週四日くらいで遊んでいます。ハマったきっかけは、年中になり鍵盤ハーモニカを習い始めたからだと思えます。今では主人と一緒に、下の子に邪魔をされるながらも「きらきら星」「メリーさんの羊」などを、楽しく練習しています。今は、まだ一小節しか弾けません。が、一曲全て弾けるようになるのが楽しみです。



つばき組  
森内 理恵  
ゆきあ  
(幸愛)

うちの子が今ハマっている遊びは「マジック」です。以前テレビでやっていたマジックを見て興味を持ったのか、自分で見よう見まねでやるようになりました。そこでも私が簡単なマジックを調べて子どもに見せ、タネを明かし、自分で出来るように一生懸命練習しています。最近覚えたのが、一枚の紙をヒリヒリに破ってそれを元通りに戻す事です。まだまだタネが丸見えだけど、上手になって、早くお友達に披露できるようにね。



# おとまり保育

7月21～23日、年長さんが大洲市河辺村へお泊まり保育に行ってきました♪





おしろやま



いもほり



いねかり



おつきみかい



おゆうぎかい



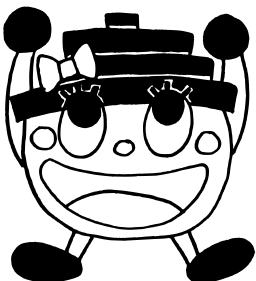
とべやき



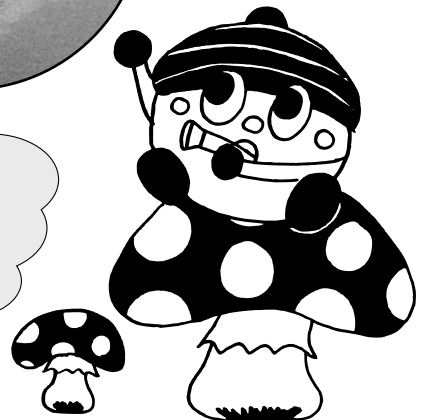
おもちつき



たがみさん

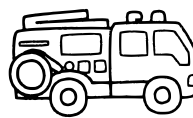


2学期の思い出  
楽しい思い出が  
たくさん  
できたね!!





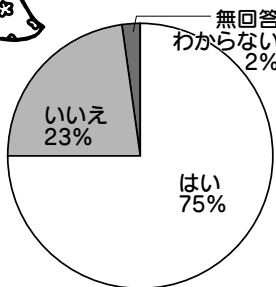
# 「防災意識」



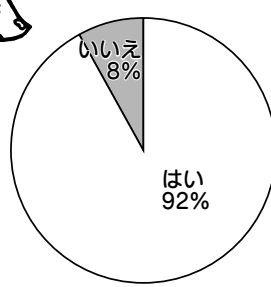
## について聞いてみました！ (地震編)



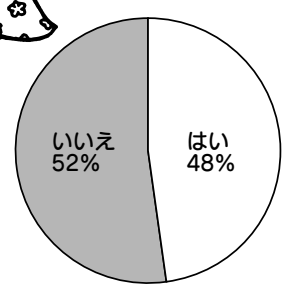
**Q1** ここ数年の間に愛媛県に大きな地震が起これると思いますか。



**Q2** あなたは地震が起きたときの避難場所を知っていますか。



**Q3** ご家庭で避難道具を備えていますか。



**Q4** Q3で「はい」と答えた方で、ご家庭で備えているものを教えてください。

- 懐中電灯 ●ラジオ ●非常食 ●水 ●おむつ(下着)
- ヘルメット ●薬(救急セット) ●軍手 ●防災マップ
- ナイロン袋 ●アルミシート ●携帯充電器 ●簡易トイレ
- マスク ●トイレトイレットペーパー ●お金(小銭)

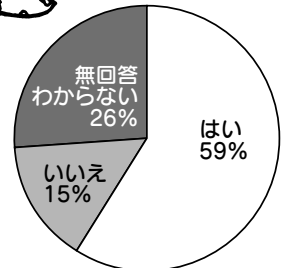
上記のようなものを非常用袋に入れて置いておく方がたくさんいらっしゃいました。また、下記のようなものもあれば便利かと思います。

- ラップ ●ロープ ●チャッカマン ●ウェットティッシュ(おしりふき)
- レインコートなど……

もう一度確かめてみるのもいいかもしれませんね!! (左ページ参照)



**Q5** 木の実幼稚園における防災対策は充分だと思えますか。



**Q6** 園で防災グッズとして備えて欲しいものはありますか。

- ヘルメット(防災頭巾) ●ライフジャケット ●非常食 ●水 ●おむつ ●窓ガラスの飛散防止フィルム
- 懐中電灯 ●レインコート(防寒用品) ●携帯用トイレ ●毛布 ●シェルター

この質問には「何を備えてあるのかわからない」との回答もたくさん寄せられました。

幾つものご提案、有り難うございました。備品については、傷の手当ができる最低限の医薬品とAEDを備えておりますが、地震や津波に対する優先事項はあくまで初動(避難行動)です。備品に過度に頼って備品を得るために身を守る姿勢が遅れたり、備品を得ようとして避難行動が遅れたりしては本末転倒です。また、避難後の生活はあくまで地域の指定避難所です。生活に必要な物資は避難所に集約すべきであり、物資を園から避難所に運搬するために園児の保護が手薄になっては意味がございません。あくまで「最低限」かつ「実効性のある」備えを行い、大原則は初動を間違わないことと考えております。備品は自宅と避難所でこそ役に立ちます。地域ぐるみでの大地震対策の際には、地域の指定避難所(小・中学校)へのご理解とご協力を、是非ともお願いいたします。





地震について理事長先生や消防士さんに聞きたいこと、疑問に思っていることをご自由にお書きください。

〈消防士さんへの質問〉

**Q1** : 地震が起こったときにまずすることは何ですか？

**A1** : 大きな地震が起こった場合、まず身動きができません。なので、自分の身の安全をしっかりと確保しましょう。

それから火の始末をし、出口を確保し、気をつけて避難するようにしてください。

また、地震が起こってからでは遅いので家具が倒れないよう、固定をしっかりとっておきましょう。

**Q2** : 非常用袋に最低限入れておいたらいいものは何ですか？

右記のようなものがあるといいでしょう。



 現金	<b>NHK</b> ぞえる防災 <b>防災グッズ 家庭用</b> TOOL TO KEEP IN STOCK AT HOME		 口腔ケア用ウェット ティッシュ(ボトルタイプ、 100枚入り5本程度)
 ロープ	 通帳・印鑑・カード	 ヘッドライト	 乾電池
 携帯ラジオ	 ポリ袋 (大・中・小、各50枚程度)	 皮手袋	 歩きやすい運動靴
 LEDランタン	 水 (182リットル×7日分 ×家庭分)	 非常食 (4~5日分)	 リュックサック
 救急セット	 カセットコンロ カセットボンベ (ボンベは15~20本)	 ヘルメット	 簡易トイレ (60~70枚)

〈理事長先生への質問〉

**Q1** : 津波が来ても、避難は間に合いますか？

**A1** : 間に合いますので、ご安心ください。愛媛県が発表している地域防災計画によると、南海トラフ大地震が発生した場合に愛媛県中予地方に第一波(1.0mの水位上昇)が到達するのにかかる時間は137分(2時間17分)とされています。毎年行われている避難訓練の検証データが園のホームページの「防災教育」ページに載っておりますので、是非ご参考ください。

**Q2** : 園児の引き渡し場所は？

**A2** : 指定避難所(垣生中学校)です。但し、園であろうが、避難途中であろうが、保護者が来た場合には担任より引き渡します。一方で、園児全体の避難の妨げにならないよう、お迎えの保護者は避難の隊列から速やかに遠ざかる、もしくは、園児に同行して避難場所まで向かうよう、ご協力ください。

**Q3** : 安否の確認方法は？

**A3** : 園のメール配信システムは園の電源に頼っておらず、園の電源が非常電源含めすべて稼働不能になった場合でも、教職員の携帯電話からアクセスが可能です。世の中には非常電源を備えた電波塔や耐震性が確保された電波塔が設置されているので、一定時間内に安否確認は可能と見込んでおります。

頂いたアンケートには目を通させて頂きました。その他の質問への個別回答は園のホームページの「防災教育」ページに掲載することを検討しております。防災にかかわる情報については、引き続き園のホームページの「防災教育」ページを是非ご確認ください。



※紙面の都合上、全てのご紹介ができませんでしたが、皆様の貴重なご意見、ありがとうございました。

